

令和4年度

石川町議会と石川地区の商店主（後継者）との意見交換会記録

日 時 令和4年11月16日（水）午後7時から午後8時40分まで

場 所 石川町役場 第1委員会室

出席者

石川地区の商店主(後継者) (敬称略)	議 員
鈴木 晃(有)スズキ家具センター)	根本 重泰
近藤 信也(石川ガス有)	増子美知夫 (記録)
齋藤 一史(有)斎藤酒店)	下山田和雄 (報告)
山崎 友歌(有)ヤマザキ)	瀬谷 京子 (班長)
酒井 綾子(株)お菓子のさかい)	
坂本 尚隆(有)まるもと商店)	

次 第 1 開会 (挨拶) 2 自己紹介 3 議会報告
 4 意見交換 5 閉会

発言内容等

議員：町の現状について、自由に話していただければと思います。

○：町自体が寂しいのは人口に比例する。生計を立てるのを目標にやっているが、大型店が近くにあれば、郡山や白河に客が逃げないので、大型店ができて、それと戦ったほうがいい。集客率を上げるための物づくりが大事。具体的には思いつかないが、そういう努力が大切。小売店減るのは仕方ない。後継者がいないので、外から出店できる体制づくりも大切。競合しないと人が集まらないと思う。難しい問題。

議員：集客面で、いろいろな人の話を聞くと、オノヤでリフォームした人は、誰に頼んだらいいか分からなかったのがチラシを見て頼んだとのこと。集客でいうと、個人事業者の広告宣伝が足りていない。町の業者が何をやっているか知られていない。石川に業者があるけど郡山の業者を使い、高いお金を払っている。利用者もテレビCMをしている業者には文句を言わない。同じ事業でも、石川の業者ならそこまで高くないけど、やっていることを知られていないので、そこを改善すればよいと思う。町民が、誰に頼めばいいか分からず困ったら、商工会か町で、そこに電話すれば業者を案内してくれるような窓口を作ってほしい。

○：我々がどこまで宣伝できるかは資金の問題がある。昔は年2、3回チラシを入れて、それに合わせてセールをしていた。今はチラシを入れるとお金がかかるので、大手でもチラシ入れ

るのが厳しい。宣伝力としてインターネットもいいと思うがコストもかかり技術的に疎いこともあり入りにくい。町の中で何かできるものがあると我々はのりやすいし、費用面も軽減されると思う。道の駅のような所に1店1ブースを作ってもらい、町や商工会で情報を教えて貰う。議会もそういったことを、お手伝いして欲しい。

議員：道の駅をつくるとすれば、商工会で動いて、外部の事業者ではなく、町の業者を利用するようにしたほうがいい。

○：外部が入るのは仕方がない。建売は石川の業者がほとんどない。新築の時、町で地元業者を使用した時の優遇措置があると、町の業者を優先的に使ってくれるので、そういうのがあればいいと思う。

議員：道の駅を作るのであれば、商工会で部屋をひとつほしい。道の駅で何かあるたびに地元商店がその部屋でイベントをやりたいという商工会長から話があり、一般質問で要望したことがあった。

議員：道の駅が窓口の案内になって、こんなものだったら町内のこんなお店がありますよと実際にやっているところがあって、多いのは観光果樹園やお菓子屋さん等、道の駅で実際に地元業者を紹介している所ある。町の道の駅に行けば地元の業者を紹介してもらい、何らかのカードを持っていけば割引するというようなしくみが今出てきている。あと、家を建てる時、地元工務店を使えば補助金がありますまではある。そこからもう一歩進んだ形でやれば、いろんな業者も利用するというしくみづくりを進めればいい。

広告宣伝について、商工会でスマホを使ったコマーシャルを作ったこともある。酒井さん、ネット広告の仕事をしていたとのことなので、そのスキルを活かして、1件ごとのチラシではなく、こんな方法はないかなということはどうですか

○：広告はすごくお金がかかるイメージがある。ただインターネットの広告はテレビとか新聞とかに比べたら、かなり予算は抑えることができるのがメリット。それ以上お金をかけないでできるのがSNS。SNSは、地道に1件ずつあげてもフォロワーを増やすとか拡散させるのは難しい。町の良さを紹介するアカウントがひとつあって皆で協力して写真やイベント情報を上げていけば費用も抑えてできると思う。

○：それが1番良い。自分でやろうとしたが知識が乏しく、時間もない。メールを返すのも私には大変。なんらかの窓口があって、皆でやれば一番いい。

議員：観光物産協会で、一つアカウントを作って進める方法が良い。

議員：議会としても後押しすべき。

○：道の駅の中に、各店舗ブースを作ってもらうのがベスト。写真とかだけでなく、ブースに1人いて、それが、まちなかのどこにあるのか説明してくれるようにしてほしい。

議員：石川町のホームページに情報があるが、SNSを活用して宣伝するのはいい方法。

○：一番はコスト。金額的な補助があると、個人商店も動きやすいと思う。参加コストがかからないように個人商店の宣伝をして貰えば助かる。個人商店から話を聞いてもらって進めてほしい。

議員：商工会で進めるのがいいのでは。

○：個人的にはやりきれないので、知識のある人が立ち上げてくれると助かる。

議員：まとめて広告を請け負ってくれるところが欲しいということ。SNSはある程度仕組みを作ればできると思う。では、年配の人へはどうするか。

○：お客さんが高齢者の場合は紙の回覧板やチラシ広告になるが、個人では知識がなくやりきれない。情報発信元に信頼度がないと注文してくれない。特に田舎は発信元の信頼度は大切。

議員：まちなかに賑わいを持たせるためにはどうすればいいか。

議員：まちなか再生について意見交換しているが、なかなかこうだというのが出てこない。まちなかに、まちなかの駅があれば一番いいのではないかという町民の声がある。

○：高校生が部活帰りに何か食べようとしても限られる。高校生が利用できる飲食店があればいいと思う。

○：まちなかは朝夕の子どもの送迎で車が多いので、町の真ん中に駐車場があれば、周りの商店にも寄ると思う。道の駅でなくまちなかの駅を作ってほしい。高齢者のためにも、町の中に過ごせる場所があれば、そこに集まるのではないか。

議員：コンパクトシティの考え方。

○：今回の河川改修工事で、南町が20戸減少し、ガスを使ってもらっていた住宅が減った。県の仕事なので県からお金もらって、人が外に出て行ってしまう。

議員：先般、町の事業者と「道の駅意見交換会」の中で商工会役員から情報力を生かして、いかに将来的に集客できるかが重要であると述べており、皆さんと全く同じ考えですが、その動きが見えていない。

議員：まちなか再生計画でまちなかの駅の話があったが、水害でもう一度検討必要ということになっている。議員がまちなかの駅の話をもう一度したら、後押しをしてもらえるか。

○：現実的ではないと思う。これからは、現在工事中のバイパスと道の駅が結びついて、メイン通りになっていくと思うので、何か考えないといけない。旧役場のところに桜を見に来たり

しているので、川沿いに店があるといいと思う。さらに、高校が2校あるので、それをメインに考えればいい。町の人が、道の駅に行くのは最初だけだと思う。

議員：道の駅の利用者は、8割が地元住民だとのこと。

○：まちなかにまちの駅がないよりは、あった方がいいが、明確な目的がないと現実的ではないのではないか。そこに行けば何かあるということが大切。窓口を一本作って、そこに電話すれば用事が足りるようにしてもらったほうが良い。住んでいる人にすれば、1個だけ電話番号が分かれば用事が足りるので、そういうのがいい。

議員：皆さんが考えている、まちの駅はどんなものか。

○：小さい企業には、まちの駅に一人配置するとなると難しい。それより、自由に誰でも利用できる駐車場が必要。町の商店には、駐車場が無いので共有できる大きな駐車場があればいい。

議員：道の駅と、まちの駅の考え方が違う。

議員：高校生と高齢者が気軽に立ち寄りたりするところがあって、バスターミナルがあったらとか。

議員：できる、できないに関わらず、人がこうすれば集まると考えるのはどんなところ。

○：昔の坂本屋のような総合的な商品を扱う商店があればいいと思う。自治センター脇の子どもと遊べるところには、たくさん人が来ている。川の遊歩道は、犬を散歩させるために遠くから来る人もいる。道の駅の後ろにアスレチックやドックランを作るとかすればいい。ディズニールンドみたいなところが一つあればすごい集客になる。

○：道の駅の特産物を作る会議に出ていると、いつも何か新しいものを作ると言うが、今、町にあるいいものを活かしながら、新しいものを作るのがまちなか再生。石川町には、お菓子屋がいっぱいあり、この店のこれだという商品があるので、新しいものを作るのではなく、それを活かせばいいと思う。

○：議会としては、まちなかがどうなったら再生と考えているのか。まちなかはどこからどこまでか。

議員：市街地活性化法では、鹿ノ坂から。まちなか再生となるともっと狭い範囲、南町、新町、荒町、当町とか。

議員：これは人により違う。人が集まるのが再生と考えたらいいと思う。そのためには、どうすればよいかを考えればいいと思う。

○：高校生の息子に、人が集まるためには何があればいいか。何があったら町に行くと言いた

ら、お金と答えた。高校生が集まって、ワイワイやれる場所を作ればいい。

○：飲食店少なく食べる所が少ないことが町に人が集まらない大きな要因だと思う。

議員：石川町は、食べるところが少ない。町民と町が一体となって考えていかないと、町が良くならない。

○：生計を立てながら、事業転換するのは難しい。周りから人を呼ぶのも大切だが、石川町の人
が石川町で消費してくれるのが基本。子ども、高齢者が大切。集客のため何か考えるべき。
人口減少をどうするか考えていかなければならない。

議員：最後に皆さんから。

○：少子高齢化が進みバックなど学販品も限られてきている。夜歩いている高齢者が多いので、
スポーツジムやウォーキングコースがあればいいと思う。

○：話し合いで理想を出した後、現実を踏まえて、実現するまで話し合うことが大切だと思っ
た。夕方、町なか暗い。ウォーキングしている人や子供も多いが夕方の町なかは暗く治安
も悪いので明るくしてほしい。

○：学石寮生の通学路が真っ暗で危険なので、外灯設置が必要。運転している我々も危ない。

沢田にサッカー場を造る計画があると聞いているので、町の業者を使って貰うようにし
て欲しい。卒業生が石川町にとどまる方策を考えてほしい。10年後を考えると、子どもに
帰ってこいとは言えない。受け皿となる雇用できる場所を作ってほしい。若者だけでなく、
年寄りメインの町づくりを考えても良いのではと思う。その関連の仕事が増えるので。

○：子どもの遊ぶ場所が少ない。子ども達が遊べる場所をもっと増やして欲しい。あれば、石川
町で子育てしたいという人が増える。いろいろな飲食店があれば、家族で利用できる。S N
Sやチラシを集約して出してくれる仕組みと、問合せ窓口が一つあると、町民も何があつて
も動きやすい。

○：高校が2校もあって、生徒もあんなにいるのに、石川町にとどまる人が少ない。戻ってきや
すい環境づくりをするべき。交流人口を増やす努力が必要だが、個人個人ではなく、みんな
で協力していけたらいいと思う。

○：まちなか再生は、我々の努力が大切だが、個人で対応しきれないところをみんなで対応でき
ればと考える。